

令和5年度 第3回 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会 まちで暮らすネットワーク（地域生活支援拠点） 部会 会議録	
日 時	令和5年11月10日（木）13：30 ～ 15：15
開催場所	保土ヶ谷区役所 201 会議室
出席者	てとて・相談支援事業所、光風会、銀河和田町、ワイアー、夢21ホーム、 わおん障がい者グループホーム横浜、ポート葦、いわまワークス、ゆめ、区障害 福祉課 <事務局> いわまワークス、夢21福祉会、区生活支援センター、区障害福祉課精神保健担当、 区障害福祉課、保土ヶ谷区基幹相談
欠席者	
開催形態	公開（傍聴人： 名） ・ <u>非公開</u>
議 題	<p>【内容】</p> <p>13：30～ 総合司会あいさつ</p> <p>穏やかな気候の時期。偕恵いわまワークスでは週末わくわくマーケットという年1回の祭りがあります。宣伝から入ってしまいました…。本日は事例検討を通してネットワークを作りたい。</p> <p>13：35～ 自立協全体会の振り返り、ワークの趣旨説明</p> <p>地域生活支援拠点の説明を行った。自立協では、地域課題の検討と取組が大事。拠点の整備計画はこれまで3機関（区・基幹相談C・生活支援C）で作成していた。拠点は障害者の生活を地域で支えていくネットワークのこと、原則はこれまでと同様の自立協でいいと考えられるけど、拠点は自然にできるものではないので、みなさんの協力が必要になる。全体会ではこれを確認した後、これまで上がってきた地域課題を分類しテーマごとにグループワークを行った。これを、11月30日に開催される担当者会議で共有し、さらに課題を確認し、次年度の整備計画に反映する。</p> <p>13：40～ 事例を通して拠点を考えてみよう</p> <p>事例の説明、地域課題の共有（てとて相談支援事業所）</p> <p>事例：個人情報観点から、事例内容等は割愛。</p> <p>地域課題（事例提供者より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病状悪化、休息でもなく、家族不在時は入院を選ばなければならない。 ○現在の福祉サービス、制度に合わない。 ○単独で過ごすことがないため、生活スキルのアセスメントが取れない。 <p>13：45～ 全体で地域課題の検討</p> <p>参加者から出たご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○レスパイトの入所施設がない。 ○本人のやりたいことだけができる通所先がなく、経験が広げられない。 他の支援者と関われないのでアセスメントが取れない。 ○家族のサポートがないと生活できない。 ○本人と関係が取れない。

14:00～ グループワーク

- ① できそうなこと、あったらいいことを考える (30分)
- ② 意見をマイクロ・メゾ、6つの拠点機能と照らし合わせる (15分)

14:45～ 全体共有

グループワークで出されたアイデア

ア 事業所で何ができるか (マイクロ)

イ 地域で何をできるか (メゾ)

G1 ア 成年後見利用、救護施設の検討、夜間も職員いる精神のGH
参考例：事業所体験) B型ではテレワーク

イ 家族が相談できる相談員がいるといいのでは
アセスメント目的の入院

地域) イケメンの大学生のボラで、リモートでカフェ巡り
外国人のホームステイの受入
安心キーパーの利用

好きなファッションのお店の協力の下出張販売

G2 ア 両親の支援として、生活支援C等の家族会への参加
(家族同士のぴあ的なもの?)

自宅以外の、話ができる場の検討

「作業所のカフェに行ってみてお茶しませんか」

相談員と訪看の支援を継続する

近所の買い物 (外出の) 機会を増やす

イ 担当相談員の他に、フォロー相談員を作る

両親がいないときに泊まってくれる誰か見つける

外に出ずに体験を重ねる工夫

人材確保) 自立協に関わる職員、ケースワーカーが区内にどんな事業所があるか把握する

地域) 民生委員と話す

自宅訪問で体験できるなまはげ、戦隊もの、アイドルチームを作る

G3 ア 相談) 高校時代の友人の力を借りる

体験) 柔軟に対応できる場がある

精神専門のレスパイト施設

両親と泊まる精神の施設

当事者のアイドルグループを結成

親に働いてもらう

応援の色紙や手紙を渡し支援チームを目で見える形で示す

G4 ア 全体のコーディネートをする総相談員がいてもいいかも

家の中の活動を充実できる何か

リモートで見学できる機会。

自宅で体験できる機会の提供

専門人材) 家族全体を支援できる人材育成

本人に外出が必要なのか、本当に必要なのかという議論もあった

両親のことを知っている人へのアクセス

周りの支援者と切れたときに、リモートで参加出来たり相談できたり

- イ 職員も含め、ショートステイ・体験の場など提供する、個別契約でもやってみるとか
- 体験の機会) 映像で体験できます、みたいなサイトがあるといいのでは

ミクロ (個人、事業所でできること)

拠点機能	ミクロ(個人、事業所でできること)
相談	家族の話し合い → 家族のサポート とらえようには 本人に提案すること 本人の スリッパを染める
緊急時の受け入れ対応	
体験の機会・場	体験の機会・場 GH 利用
専門的人材の確保・育成	
地域の体制づくり	家族への 心療教育 ヒアリング 入院した 人の役に立つ サポート
その他の居宅支援	父E仕事に 行かせる (母子...) 支援者から 本人に 提供の手紙を渡す。 (目録送付が可)

拠点機能	ミクロ(個人、事業所でできること)
相談	家族の話し合い → 家族のサポート とらえようには 本人に提案すること 本人の スリッパを染める
緊急時の受け入れ対応	家族以外に おられる場合は 相談員が サポート (24時間)
体験の機会・場	知的な ついでに 一緒に昼食 家族の 増加
専門的人材の確保・育成	家族以外に おられる場合は 相談員が サポート (24時間)
地域の体制づくり	家族への 心療教育 ヒアリング 入院した 人の役に立つ サポート
その他の居宅支援	父E仕事に 行かせる (母子...) 支援者から 本人に 提供の手紙を渡す。 (目録送付が可)

拠点機能	ミクロ(個人、事業所でできること)
相談	本人中心の支援 ← 家族全体の サポートをする 場合、本人が 生活に支障を きたしている 場合、本人が 生活に支障を きたしている 場合、本人が 生活に支障を きたしている
緊急時の受け入れ対応	
体験の機会・場	事業所見学 200m圏 録画したもの を視聴する 在宅サービス 内職や料理 を学ぶ
専門的人材の確保・育成	家族の関わり を減らす 生活歴の アドボカシー 本人の 意思を 尊重する
地域の体制づくり	両親の仲良い人 との連携 インターネット を活用 入居中の 家族の 機能 を高める
その他の居宅支援	個人 への LINE による サポート (LINE による サポート (LINE による サポート))

拠点機能	ミクロ(個人、事業所でできること)
相談	本人中心の支援 ← 家族全体の サポートをする 場合、本人が 生活に支障を きたしている 場合、本人が 生活に支障を きたしている 場合、本人が 生活に支障を きたしている
緊急時の受け入れ対応	家族以外に おられる場合は 相談員が サポート (24時間)
体験の機会・場	事業所見学 200m圏 録画したもの を視聴する 在宅サービス 内職や料理 を学ぶ
専門的人材の確保・育成	家族の関わり を減らす 生活歴の アドボカシー 本人の 意思を 尊重する
地域の体制づくり	両親の仲良い人 との連携 インターネット を活用 入居中の 家族の 機能 を高める
その他の居宅支援	個人 への LINE による サポート (LINE による サポート (LINE による サポート))

拠点機能	メゾ (自立協、協働してできること)
相談	
緊急時の受け入れ対応	
体験の機会・場	<p>三ドルヌイ 精神科版とつくる 設立してつくる</p> <p>レスポイト目的を はたす。精神科 SSRとつくる</p> <p>自宅以外の場所 で活動する種 類と一緒につくる</p>
専門的人材の確保・育成	<p>両親と一緒に 泊まる。 → 家族で作業 が出来るようにする</p>
地域の体制づくり	<p>当事者の シャニーズ部 をつくる</p> <p>他のケースの経験談 を家族に伝える</p> <p>SNSを使って 仲間つくりを する</p>
その他の居宅支援	

拠点機能	メゾ (自立協、協働してできること)
相談	<p>計画的な活動が 失敗した時に 代わってくれる 相談員を見つける ために、PRCA</p>
緊急時の受け入れ対応	<p>本気で活動したい人 を募りたい人 (仲間の友達や 近所の人をいらす) その人の家へ泊まる</p>
体験の機会・場	<p>(本気で活動したい人) 自習して活動したい人 (外に出かけたい人) 活動したい人</p>
専門的人材の確保・育成	<p>自立協 相談員・CWA などの 作業所 かつ何を や、この人が 活躍できる</p> <p>相談員・CWAが このコースを話し 続ける。</p>
地域の体制づくり	<p>民生委員と 話してみよう</p> <p>自治会 の話し合い を 戦隊 アイドル テーマで作ろう</p>
その他の居宅支援	

拠点機能	メゾ (自立協、協働してできること)
相談	
緊急時の受け入れ対応	<p>施設での空室を有効活用し 専門的知識をハラス メントに転換してつくる</p>
体験の機会・場	<p>作業所情報と 共有。 日没後、20時以降 からの活動</p>
専門的人材の確保・育成	
地域の体制づくり	
その他の居宅支援	

拠点機能	メゾ (自立協、協働してできること)
相談	<p>兄をサポート する (支援者)</p> <p>家族のサポート を有効活用する 相談員 家族のサポート</p>
緊急時の受け入れ対応	
体験の機会・場	<p>入居した時の居人 のサポートを 家族が出来るように サポートする</p>
専門的人材の確保・育成	<p>1人1人 大学はみんな サポート リソースを有効活用</p>
地域の体制づくり	<p>オーガスタス 会館から (外国人)</p> <p>みんなのサポート の力をゆるく 見守ってくれる 人たち</p> <p>相談員 を1人1人 サポート</p>
その他の居宅支援	

15:10～ まとめ

事例提供者より

体験の場を、外ではなく、自宅でもできるという考えでもみなかったアイデアがあった。相談員も1人ではなく、複数いるといいなと日ごろから考えていた。チャレンジしたいと思われるアイデアもあって、参考になるGW共有が聞けた。

15:15 終了

2. 今後の開催予定日について

第2木曜日 13:30～15:00

1月11日 事例検討（場所：星川CP多目的ホール）

3月14日 振り返り（場所：保土ヶ谷公会堂第一会議室）

次回： 1月 11日（木） 13:30～15:00 **場所：** 星川CP多目的ホール